

日本キャリアデザイン学会 2009 年度総会

配 付 資 料

日 時 2009 年 9 月 26 日(土)17:30~18:00

会 場 千葉商科大学 7 号館 B1

司会 武石 恵美子 理事

一 次 第 一

1. 開会あいさつ 会長 川喜多喬
2. 議長選出
3. 事業報告
 - ・2008 年度事業報告 …(資料 1)
 - ・活動日誌 …(資料 2)
 - ・学会刊行書籍 …(資料 3)
 - 『— 「キャリア研究を学ぶ : 27 冊を読む」 — キャリア研究文献・資料ガイドブック』
4. 決議事項
 - 第 1 号議案 2008 年度決算承認の件 …(資料 4)
 - 第 2 号議案 2009 年度事業計画承認の件 …(資料 5)
 - 第 3 号議案 2009 年度予算案承認の件 …(資料 6)
5. 2010 年度研究大会・総会の件 …(資料 7)

以上

資料 1 2008 年度 事業報告

1. 会員数の推移

会員数は昨年比で+18名・団体で合計 1,011 名・団体となった。

増加数では微増ではあるが、これは、長期会費未納会員に対して納入の督促及び、会員継続意志の確認を行ったところ、個人 67 名、団体 7 団体の退会申し出があったため、新規入会者数自体は、92 名と例年と大きく変化はない。

会員状況(2009 年 9 月 1 日現在)

会員種別	2007 年 10 月	2008 年 10 月	2009 年 10 月	前年比
正会員	640	695	714	19
正会員(院生)	81	101	99	-2
学生会員	23	25	25	0
賛助会員(個人)	112	126	131	5
賛助会員(団体)	44	46	42	-4
合計	900	993	1011	18

2. 委員会活動

2008 年度は、会長の意向により、研究組織委員会の各委員長等を中心とした委員会活動による学会の活性化と、学会員へのサービス向上を図ることを方針として活動した。

(1)研究企画委員会

久保田慶一委員長のもと、2ヶ月に1回の開催(奇数月)を基本とし、6回の研究会を開催し、会員以外の方からも多数の参加を得た。

(2)機関誌編集委員会

川崎友嗣委員長のもと、機関誌『キャリアデザイン研究 Vol.5』を9月18日に発行した。投稿論文等の数も25件と過去最高となり、審査の結果19件の論文等を掲載するにいった。

(3)広報委員会

山野晴雄委員長より示された方針により、従来実施していた月1回のニュースレターの発行、2ヶ月に1回程度のメールマガジンの発行に加え、①ニュースレターへの研究会の発表要旨の掲載、②ホームページへの役員による「私のキャリアデザイン論」の掲載、を行った。また、学会リーフレットをリニューアルした。

(4)関西支部

中村恵支部長のもと、3回の支部主催研究会を開催し、多数の方の参加を得た。

(5)基本文献解題編集委員会

佐藤博樹委員長のもと、前年度からの懸案であった『—「キャリア研究を学ぶ：27冊を読む」—キャリア研究文献・資料ガイドブック』を、10月下旬に発行することが決定した。当初予定より遅れたことをお詫びしたい。

3. その他の活動

(1)中部支部設立のための準備会開催

中京地区の活性化および会員サービスの向上のために、中部支部を設立するための準備会を2月25日に開催した。

(1)九州支部設立のための準備研究会開催

九州地区の活性化および会員サービスの向上のために、九州地区「第1回」交流会を5月9日九州大学箱崎キャンパスにおいて開催し、多数の方の参加を得た。

(2)リーダー層によるキャリア勉強会開催

「キャリアデザインとは何か」という根本的な問題に関する、役員による勉強会を4月11日の常務理事会・委員長会議に合わせて開催した。

(3)「キャリアデザイン研究奨励金」

前年度総会で決定した研究奨励金の規程を制定すると共に、第2回の募集をホームページにて公募した。第1回の助成研究の成果は、第6回研究大会にて発表する。

4. 支出は、ほぼ予算どおりで処理できた。

資料2 活動日誌

日本キャリアデザイン学会日誌(2008年度主要行事:敬称略)

行事等	日付	主な内容
メールマガジン	2008年10月7日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第79号
ニュースレター	2008年10月15日	ニュースレター49号
常務理事 研究組織委員会会議	2008年10月23日	第5回大会総括と、新会長になり今後の方針を検討する。併せて各委員会の今後の方針について報告をいただく。
広報委員会	2008年11月6日	今後の学会の外部に対する後方のあり方と、ホームページへの「私のキャリアデザイン」出講者を確認する。
メールマガジン	2008年11月12日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第80号
ニュースレター	2008年11月15日	ニュースレター50号
研究企画委員会	2008年11月25日	今年度の、「研究会」開催要項の確認と分担を決定
ニュースレター	2008年12月15日	ニュースレター51号
機関誌編集委員会	2008年12月17日	学会機関誌「キャリアデザイン研究 Vol.5」編集会議
関西支部研究会	2008年12月21日	京都産業大学全学共通教育センター 松高 政氏 講演
研究会	2008年12月26日	NPO法人キャリア文化研究所(CCI)理事長 梅澤 正 氏 講演
常務理事・委員長会議	2009年1月10日	第6回大会・総会への対応と各委員会からの報告、及び中部地区支部開設への対応について話し合う。
ニュースレター	2009年1月15日	ニュースレター52号
メールマガジン	2009年1月26日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第81号
研究企画委員会	2009年1月31日	第6回研究大会・総会のテーマ及び千葉商科大学との連携方法を確認する。
研究会	2009年1月31日	日本キャリアデザイン学会 会長 川喜多 喬 氏 講演
ニュースレター	2009年2月15日	ニュースレター53号
メールマガジン	2009年2月18日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第82号
ニュースレター	2009年3月15日	ニュースレター54号
研究会	2009年3月28日	目白大学教授 松矢勝宏氏/日本 HP 川合昭子氏 講演
常務理事・委員長会議	2009年4月11日	第6回大会・総会のテーマの確定。及び各委員会からの報告を行う。
ニュースレター	2009年4月15日	ニュースレター55号
メールマガジン	2009年4月20日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第82号
研究会	2009年5月2日	(株)ジャパン・ベースボール・マーケティング代表取締役 村山 哲二 講演
メールマガジン	2009年5月14日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第83号
ニュースレター	2009年5月15日	ニュースレター56号
メールマガジン	2009年5月26日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第84号
常務理事・委員長会議	2009年5月29日	第6回大会・総会の詳細決定。及び各委員会からの報告を行う。あわせて「学会研究奨励金」の取り扱いを話し合う。

ニュースレター	2009年6月14日	ニュースレター57号
研究会	2009年6月26日	東京学芸大学教授(当学会研究企画委員長) 久保田啓一氏 講演
ニュースレター	2009年7月14日	ニュースレター58号
常務理事会議	2009年7月17日	第7回大会・総会の「08年度活動実績」及び「収支状況」、「09年度活動計画」について討議を行う。
研究会	2009年7月25日	東京大学社会科学研究所 玄田有史氏 講演
研究会	2009年7月25日	梶原 文子 (元大阪府立東住吉総合高等学校 キャリアコーディネータ) 椎木 美由紀 (元大阪府立西淀川高等学校 キャリアコーディネータ) 嶋野 美知子 (元大阪府立咲洲高等学校 キャリアコーディネータ) コメンテータ 生駒俊樹 (京都造形芸術大学 芸術教育資格支援センター 教授)
メールマガジン	2009年7月28日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第85号
ニュースレター	2009年8月15日	ニュースレター59号
メールマガジン	2009年9月9日	まぐまぐメールマガジン「キャリアデザイン メールマガジン」第86号
ニュースレター	2009年9月15日	ニュースレター60号
第6回研究大会・総会	2009年9月26日・27日	千葉商科大学を主宰校に、日本キャリアデザイン学会創立5周年記念 第6回研究大会・総会を開催した。

資料 4 2008 年度 決算承認の件

1. 9 月 30 日収支(見込み)状況

2009年 9 月期収支計算書(9 月末決算見込み)

2008 年 10 月 1 日～2009 年 9 月 30 日(見込み)

科目別	決算額		予算額	差額
I. 収入の部				
会費収入	7,945,900		7,500,000	445,900
大会会費収入	1,500,000		2,200,000	-700,000
研究会参加費収入	223,000		200,000	23,000
研究誌等販売収入	43,050		150,000	-106,950
関西支部収入	210,000		200,000	10,000
受取利息	3,023		8,000	-4,977
当期収入計(A)	9,924,973	3/3 科目修正	10,258,000	-333,027
前期繰越資金	4,361,824		4,361,824	0
収入合計(B)	14,286,797		14,619,824	-333,027

科目別	決算額	予算額	差額
II. 支出の部			
大会関連支出	2,500,000	2,500,000	0
関西支部支出	393,116	500,000	-106,884
業務委託費	2,200,000	2,200,000	0
広告宣伝費	899,850	550,000	349,850
旅費交通費	340,650	400,000	-59,350
通信費・運賃	586,305	600,000	-13,695
諸謝金	352,126	300,000	52,126
会合費	302,543	250,000	52,543
消耗品費	90,867	400,000	-309,133
印刷費	1,191,120	1,800,000	-608,880
支払手数料	108,800	100,000	8,800
諸会費	90,000	90,000	0
研究助成費	1,200,000	1,500,000	-300,000
雑費	0	50,000	-50,000
当期支出計(C)	10,255,377	11,240,000	-984,623
当期収支差額 (A)-(C)	-330,404	-982,000	651,596
次期繰越資金 (B)-(C)	4,031,420	3,379,824	651,596

(注)

※総会が決算期日(9/30)前のため、9月執行予定分につきましては見込みで計上しています。

1. 大会関連収支・・・参加数約200名で算出。
2. 業務委託費...事務局業務費+顧問税理士委託料
3. 研究助成費...出版助成105万円を含む

上記以外にも若干の収入、支出が発生する見込みです。

正式な決算につきましては、10/1以降に行い、監査、常務理事会での承認を経て、ホームページで公開させていただきます。

参考 1 8月31日現在収支状況

2009年9月期収支計算書(8/31現在)

2008年10月1日～2009年8月31日

科目別	決算額	予算額	差額
I. 収入の部			
会費収入	7,945,900	7,500,000	445,900
大会会費収入	358,000	2,200,000	-1,842,000
研究会参加費収入	223,000	200,000	23,000
研究誌等販売収入	43,050	150,000	-106,950
関西支部収入	210,000	200,000	10,000
受取利息	3,023	8,000	-4,977
当期収入計(A)	8,782,973	10,258,000	-1,475,027
前期繰越資金	4,361,824	4,361,824	0
収入合計(B)	13,144,797	14,619,824	-1,475,027

科目別	決算額	予算額	差額
II. 支出の部			
大会関連支出	0	2,500,000	-2,500,000
関西支部支出	393,116	500,000	-106,884
業務委託費	1,870,000	2,200,000	-330,000
広告宣伝費	899,850	550,000	349,850
旅費交通費	340,650	400,000	-59,350
通信費・運賃	861,305	600,000	261,305
諸謝金	352,126	300,000	52,126
会合費	302,543	250,000	52,543
消耗品費	90,867	400,000	-309,133
印刷費	1,191,120	1,800,000	-608,880
支払手数料	108,800	100,000	8,800
諸会費	90,000	90,000	0
研究助成費	141,650	1,500,000	-1,358,350
雑費		50,000	-50,000
当期支出計(C)	6,642,027	11,240,000	-4,597,973
当期収支差額(A)-(C)	2,140,946	-982,000	3,122,946
次期繰越資金(B)-(C)	6,502,770	3,379,824	3,122,946

(注)

※本計算書は、8月31日現在の収支状況です。(9月執行分は含まれておりません)

参考 2 8月31日現在貸借対照表

貸借対照表
2009年8月31日現在

資産・負債別／科目			備考	
資産の部	流動資産	普通本口(三菱東京UFJ)	4,927,267	
		普通大会口(三菱東京UFJ)	314,054	
		普通関西大会口	307,336	
		郵便貯金	913,648	
		仮払金	40,465	
		流動資産合計	6,502,770	
資産合計		6,502,770		
負債の部	流動負債	未払金	0	
		預り金	0	
		流動負債合計	0	
		負債合計	0	
正味財産の部		6,502,770		
(うち当期収支差額)		2,140,946		
負債及正味財産合計		6,502,770		

(注)

※本貸借対照表は、2009年8月31日時点のものです。

決算期日9月30日終了後に、決算期日の貸借対照表を作成致します。

ご了承くださいませ。

監査報告書

日本キャリアデザイン学会
会長 川喜多 喬 殿

当学会の2008年10月1日から2009年8月31日までの収支報告書及び2009年8月31日現在の貸借対照表は、法令に従い当学会の状況を正しく示しているものと認めます。

なお2009年度総会は年度終了前の開催となったため、とりあえず上記期間までを監査の対象といたしました。また決算が確定しました後に改めて正式な監査報告書を提出する予定であります。

2009年 9月 17日

監事・公認会計士 平野 毅

資料 5 2009 年度 事業計画承認の件

1. 今期の基本的な考え方

学会設立時には、キャリアデザインという言葉はむしろ、キャリアという言葉すら、もの珍しかった。今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などに、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っている。他の学会においても名称にキャリアを織り込んだり、その理念にキャリア研究を取り入れるところも増えてきている。また現下の経済の混乱と不確実、雇用の危機と不安定、教育の遅滞と不適應、いずれをとっても、短期的な景気変動に一喜一憂せず、個人の側からの自律的キャリアデザインをしっかりとこなすこと、組織や広く社会の諸制度からのその支援を敏速に適正に行うこと、いずれもがたいへん重要な時代趨勢は変わることがない。学会設立時の基本理念でもあった、キャリアデザイン研究者だけでなくキャリア・プロフェッショナル全般の資質向上については、政府・民間団体も動きつつあり、本学会の機関誌への投稿・発表申し込みも急激に増え、学会会員も設立後わずか5年で1000人を越えるに至った。あらためて確認すべきであるが、キャリアデザインはその支援者、研究者の課題にとどまってはならず、個々の市民の力量として普及されるべきものである。基本的な考え方の普及という啓発期を終えた学会は、引き続き基礎・応用研究を続けながらも、厳しい状況下ではあれ遅く人生を切り開いている人々の営為の発掘と科学的モデル化へのステージに、あらためて実務家と研究者との協働作業で向かうべきである。

2. 中期的活動計画

(1) 基礎研究の充実・共通用語の確立

印刷するかウェブベースで提供するかは今後検討することとして、キャリアデザイン研究基本文献解題『キャリア研究を学ぶ：27冊を読む』に続く第2弾の刊行、『キャリアデザイン用語集（仮題）』の発行に向けて準備をしたい。

(2) 自主研究の支援・実践事例の収集

会員の研究奨励のため、奨励研究を引き続き公募する。また今まで投稿に依存してきた実践事例を、組織だって収集しニュースレターあるいはホームページを活用して紹介することを検討する。

(3) 専門職としての地位の確立

キャリアデザイン・プロフェッショナルの質的充実への政策動向を前提の一つとして意識しつつ、キャリアデザイン・プロフェッショナルの実態調査を、学会として行いたい。また諸外国の例も研究したい。屋下屋を架すがごとき「資格付与」に雷同しないが、学際的な講座開設へのニーズに応える方法を検討したい。

(4) 地域活動の充実

関西支部に続き、中部地区、九州地区、その他の地区における研究活動や会員相互の交流活動を充実させていきたい。

(5) 国際的な活動

国際的な活動を展開するために、①英文のホームページの作成、②米国キャリア発達学会等との連携を促進、③英訳や英文の論文募集、を具体的に検討し、着手したい。

(6) キャリアデザインマイスター(仮称)の表彰(顕彰)

ちょっと変わったキャリアやユニークなキャリアを持った個人、個人のキャリアを支援してきた組織等を、キャリアデザイン学会として募集・表彰し、広く紹介する事業を検討してみたい。

3. 組織研究委員会による会員サービスの充実

前述の中期的活動計画を念頭に、2008年度同様、各委員長を中心とした委員会活動により、引き続き活性化を目指したい。2009年度の各委員会活動については、以下の通りである。なお、事業内容によっては、新規委員会を発足させるなど、柔軟にかつ機動的に活動を推進したい。

(1) 研究企画委員会

従来どおり、隔月1回の研究会開催を基本として、タイムリーな企画があれば適宜開催したい。また、例えば「大学職員のキャリア支援」や「企業におけるキャリア支援」などテーマ別交流会や、違う立場でキャリアに関しての方による勉強会などの開催についても検討し、会員交流の活性化を促進したい。

(2) 広報委員会

ニューズレターの毎月1回の発行、メールマガジンの隔月1回程度の発行については従来どおりとしたい。また、ホームページについては、研究会発表者による要旨の掲載、事例や実践報告の募集と掲載を充実したい。また、会員自己紹介のための「私とキャリアデザイン論」のコーナーを公募し充実させるなど、会員相互の交流促進にも取り組んでいきたい。

(3) 機関誌編集委員会

現在年1回発行している機関紙について、年2回の発行または電子媒体による発行を検討していきたい。なお、機関誌のバックナンバーについても、電子図書館化を模索していきたい。

(4) 関西支部

前年度と同様、年3回程度の関西支部研究会を開催したい。

(5) 中京地区

中部支部の設立について、具体的な計画として検討に着手したい。

(6) 基本文献解題編集委員会

第2弾の発行について、検討に着手したい。

4. 2010年度大会を神戸学院大学において実施する。

資料 6 2009 年度 予算案承認の件

資料 2009 年度 予算案承認の件

2009年度(平成 21 年度)予算案

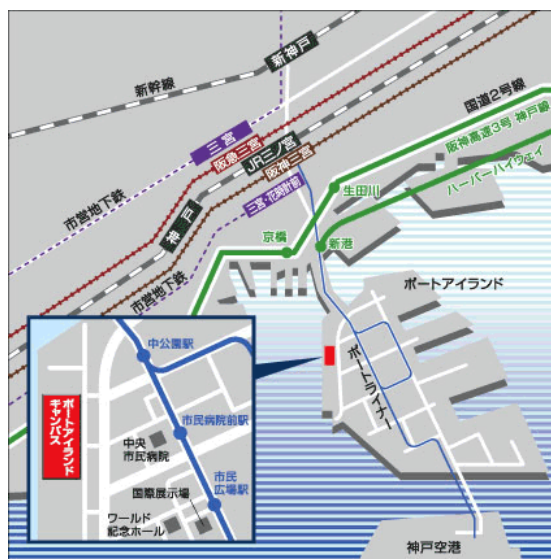
2009 年 10 月 1 日～2010 年 9 月 30 日

科目別	予算	前年度(見込)	差額
I. 収入の部			
会費収入	8,000,000	7,945,900	54,100
大会会費収入	2,000,000	1,500,000	500,000
研究会参加費収入	200,000	223,000	-23,000
研究誌等販売収入	50,000	43,050	6,950
関西支部収入	200,000	210,000	-10,000
受取利息	3,000	3,023	-23
当期収入計(A)	10,453,000	9,924,973	528,027
前期繰越資金	4,031,420	4,361,824	-330,404
収入合計(B)	14,484,420	14,286,797	197,623

科目別	予算	前年度(見込)	差額
II. 支出の部			
大会関連支出	2,500,000	2,500,000	0
関西支部支出	500,000	393,116	106,884
業務委託費	2,200,000	2,200,000	0
広告宣伝費(ホームページ含む)	900,000	899,850	150
旅費交通費	400,000	340,650	59,350
通信費・運賃	600,000	586,305	13,695
諸謝金	350,000	352,126	-2,126
会合費	300,000	302,543	-2,543
消耗品費	200,000	90,867	109,133
印刷費	1,500,000	1,191,120	308,880
支払手数料	150,000	108,800	41,200
諸会費	90,000	90,000	0
研究助成費	1,500,000	1,200,000	300,000
雑費	50,000	0	50,000
当期支出計(C)	11,240,000	10,255,377	984,623
当期収支差額(A)-(C)	-787,000	-330,404	-456,696
次期繰越資金(B)-(C)	3,244,420	4,031,420	-787,000

資料 7 2010 年度研究大会・総会の件

会 場 神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス 神戸市中央区港島 1-1-3
会 期 2010 年秋



- JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神・地下鉄「三宮」駅より、神戸新交通ポートライナー「市民病院前」駅下車。西へ徒歩約 6 分。
- 直通バス「三ノ宮駅」から「ポーアイキャンパス」へバスで約 12 分
「神戸駅南口」から「ポーアイキャンパス」へバスで約 15 分

— お問い合わせ —

日本キャリアデザイン学会

〒102-8160

東京都千代田区富士見 2-17-1

法政大学富士見坂校舎 1F 株式会社エイチ・ユー教育事業部内

TEL 03(3264)6129 FAX 03(3264)9568

E-mail: cdgakkai@hosei.org

URL: <http://www.career-design.org>